

## ＜ 地理歴史 ＞科 学習シラバス

科 目	世界史A	学年・類型	2年生 I 型	単位数	3 単位	教科書	高等学校 改訂版 世界史A (第一学習社)		
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史の大きな流れと特質を理解し、現代の諸課題を歴史的な観点から追及する。</li> <li>・現代世界の基本的な構造とその変動について歴史的に把握する。</li> </ul>							
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 資料活用の技能	D 知識・理解					
評価の内容	世界史に対する関心と課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	人類の課題を世界的視野で多面的・多角的に考察すると共に、国際社会の変化を踏まえ、判断したり、考察する。	与えられた資料から、有用な情報を選択して、効果的に活用する方法を身に付ける。	諸地域の歴史的特質と文化の交流を把握し、基本的知識を身に付け、わが国の歴史と関連付けながら理解する。					
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・予習や復習、課題への取組状況</li> <li>・ノート等、長期休業中課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・予習や復習、課題への取組状況</li> <li>・ノート等、長期休業中課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加姿勢や態度</li> <li>・課題への取組状況</li> <li>・ノート等</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動における発言内容</li> <li>・予習や復習、課題への取組状況</li> <li>・ノート等、長期休業中課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>					
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点			
1 学 期	4	第1編 世界史へのいざない 第1章 自然環境と歴史 第2章 日本列島の中の世界の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の風土と古代から前近代の歴史を扱い、それぞれの文化と他地域との関連について学習する。</li> <li>・中国のモンゴルから清帝国までの歴史を扱い、東アジア文化圏の成り立ちについて学習する。</li> <li>・アジアとヨーロッパが、密接に結びついていく様子を大航海時代・ルネサンス・宗教改革などを通じて学習する。</li> </ul>			○	○	○	○
	5	第2編 世界の一体化と日本 第1章 ユーラシアの諸文明				○			○
	6	第2章 結びつく世界と近世の日本				○	○	○	○
	7								
2 学 期	8・9	第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世、近代の欧米の歴史を扱い、世界の一体化と資本主義の誕生や思想の発達について学習する。</li> <li>・ヨーロッパ諸国の進出によるアジア地域の社会の変化について、学習する。</li> <li>(第1章～第4章)</li> <li>・現代社会の成り立ちを二つの世界大戦を軸にして理解し、戦後の二大陣営体制の確立から、第三勢力の形成、台頭などを学習する。</li> </ul>			○	○		○
	10	第4章 アジア諸国の変貌と近代の日本				○	○	○	
	11	第3編 地球社会と日本 第1章 帝国主義の時代				○	○		○
	12	第2章 急変する人類社会				○		○	○
3 学 期	1	第3章 世界戦争と平和	<ul style="list-style-type: none"> <li>(第5章～第6章)</li> <li>・現代の世界が抱えている諸課題に触れ、複雑化する国際関係を交えながら学習する。</li> </ul>				○		○
	2	第4章 三つの世界と日本の動向					○		○
	2	第5章 地球社会の歩みと課題				○		○	○
	3	第6章 持続可能な社会への展望					○		○
学習のポイント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界の成り立ちを歴史的観点で理解できるようにする。</li> <li>・歴史の流れをダイナミックに捉え、各国のつながりを理解できるようにする。</li> </ul>							